

2012/2/7

新四谷法律事務所 弁護士 伊東 卓

【略歴】

- ・昭和 63 年弁護士登録（第二東京弁護士会、40 期）。平成 14 年 10 月に現在の事務所をパートナー 4 人とともに立ち上げる。現在、パートナー 5 名、準パートナー 1 名、勤務弁護士 2 名の合計 8 名（うち女性 2 名）が所属。取扱業務は、一般的な民事事件が中心。

1 法律事務所から見た新人弁護士採用の事情

- ・事務所で受任している業務全体はとくに減少していない。ただし、事件の単価が下がっており、売上げが伸びるといふ展望が開けない。しかも、依頼者は、弁護士選びに際してインターネットで情報収集したりセカンドオピニオンを聞いたりしており、弁護士を見る目が厳しくなっている。
- ・このような状況下で、一方では、事務所のレベルアップにつながるような優秀な人材の確保という意味では新人採用の意欲はあるが、多数採用するまでの余裕はなく、事務所スペースを拡張してまで採用しようという状況にはない。他の事務所もおそらく同じような状況ではないか。
- ・事務所規模に照らせば、3 年に 1 人程度を採用して勤務弁護士 3～4 人を継続的に確保したいところ（それ以上の採用は現在の事務所スペースでは困難。）。
- ・現在、65 期で 1 名を採用することを検討している。最近の状況は、事務所にとって能力の高い新人を採用して戦力を高めるチャンス。論理構成力、文章力、コミュニケーション能力、協調性等に優れた新人を採用したい。

2 新人採用の方法について

- ・以前は配属修習生を採用していたが、最近はずいぶん欲しいと思う人材はすでに就職先が決まっている。62 期 2 名はツテにより採用。知り合いの事務所が公募によって優秀な人材を採用しており、これを見て公募での採用を検討し始めた。
- ・昨年 10 月に東京三会同就職説明会にエントリーした。事務所ブースを 250 名程度の修習生が訪れ、235 名がエントリーシートを提出した。ブースは立ち見であふれ、説明者の声が届かずあきらめる者もいた模様。
- ・募集手続は 4 月以降に実施予定だが、選考が大変。選考手続としては、書類選考及び面接に加えて、文章力を見る簡単な試験を考えている。業務に支障を生ずるので、面接を実施するのは 10 名前後ではないか。書類選考の段階で大幅に人数を絞らざるを得ない。

3 若手弁護士の就職活動の状況

- ・弁護士会で弁護士未登録者を対象とした相談会を実施した。相談を担当したが、意欲が前面に出ない、行動がやや緩慢、自己アピールが苦手というタイプが多かった。人柄や能力が劣っているわけではなく、適切なアドバイスがあれば比較的スムーズに就職に至るようだ。
- ・未登録者の相談事例では、インターネットで事務所を探し、いくつか履歴書を送るものの面接に至らず、そのうちに二回試験の準備が始まってしまって時間切れになったというケースが多い。
- ・就職希望者に対するアドバイスとしては、インターネットで募集している事務所には応募が殺到するので、それに頼らずツテを積極的に利用するよう指導している。法科大学院の実務家教員、研修所教官、修習先の弁護士、裁判官、検察官、あるいは修習生同士の情報交換等からツテを収集し、これを利用して弁護士に会うところまでこぎ着けると指導している。

- ・年齢の高い者、女性はなかなか就職が決まらず厳しいと聞いている。また、就職希望地と修習配属地とが離れたため、円滑な就職活動ができなかったという声をよく聞く。
- ・弁護士会で即独希望者を対象とした相談会も実施した。以前は、積極的に即独しようという意欲のある者が多かったが、最近では、就職できないから即独しようという者（消極的即独）が増えつつある。消極的即独の場合、登録予定地のリサーチもできていないケースがあり、安易な即独を戒めることもある。

4 若手弁護士の就業状況

- ・東京では、国選弁護や弁護士会の法律相談の件数が希望者に比して少なく、破産管財人は新人では担当できないため、これらで新人が収入を得ることは困難。即独は少数ではないか。
- ・ノキ弁は、事務所あるいは本人が申告しない限り判別できないので、東京では極めて把握がしにくい。しかし、就職先が決まらなかった者を法科大学院から紹介され、ノキ弁で受け入れているという事務所を知っている。そのような例はほかにもあると思われる。

5 事務所の採用予定と就職希望とのアンバランスについて

- ・弁護士に対する求人アンケートの結果によれば、求人数は減少を続けている。現状は明らかに修習生の供給過剰。何とか採用して欲しいと弁護士会が声を掛けてきたが、そろそろ限界か。
- ・事務所は採用できないわけではない。事務所の採用ペースを修習生の増員のペースが上回っている。

以上